

令和3年度中学生チャレンジテスト

第3学年 国語

注意

- 1 調査問題は、1ページから26ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

問題は、次のページから始まります。

㊦ 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の言葉は行書で書かれています。

ア～エから一つ選びなさい。

奮
起



で囲まれた漢字を楷書かいしよで書いたときの総画数として正しいものを、あとの

ア 9画

イ 10画

ウ 11画

エ 12画

2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

① 昨日、陸上競技大会が閉幕けいまくした。

② 再会の喜びで心が弾はじむ。

③ 近所の人に挨拶あいさつをする。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

- ① 対等な立場でボウエキを行う。
- ② 歴史に学び、未来にソナえる。
- ③ 資料をテイキョウする。

4 次の「例文」中の——線部と同じ意味で用いられているものを、あとのア～エから一つ選びなさい。

〔例文〕

彼は、いつも自分が見たテレビ番組のことばかり話す。

- ア 葉も枝も燃えるばかりに輝いている。
- イ 帰宅したばかりだったが、すぐに散歩に出かけた。
- ウ 彼は泣かんばかりの顔で立ちつくしていた。
- エ 休日は、好きな本を読んでばかりいる。

□ 次は、筆者が西田正規にしだまさきさんの著書『人類史の中の定住革命』から一部（本文中の※1～3）を引用して述べた文章です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
掲載を控えております。

著作権者への配慮から
掲載を控えております。

著作権者への配慮から
掲載を控えております。

(國分功一郎『暇と退屈の倫理学』による)

- * キャンプ地 || ここでは遊動生活をする際の短期間の生活拠点のこと。
- * 探索 || 探し求めること。
- * 土版 || 土で製作した楕円形または長方形の板状のもの。
- * 石棒 || 丸棒状の磨製の石器のこと。
- * 回避 || 身をかわしてさけること。
- * 十全 || 十分にととのっていること。
- * 潜在 || 表面に現れず、ひそみかくれていること。
- * 恒常 || 定まっついて変わらないこと。

1 本文中の A、B に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- | | A | | B |
|---|------|--|------|
| ア | そのうえ | | すなわち |
| イ | そのうえ | | それとも |
| ウ | だが | | すなわち |
| エ | だが | | それとも |

2 本文中の ——— 線部①について、ここでの意味として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア ちょうどよい程度にできる
- イ 要点をとらえることができる
- ウ 合格点を得ることができる
- エ 納得することができる

3 本文中に述べられている遺物と多くの遺物にみられる特徴を比べてまとめた次の表の I、II に当てはまる適切な言葉を、本文中の言葉を使ってそれぞれ書きなさい。

時代区分	遺物	
縄文時代	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">I</div>	多くの遺物にみられる特徴
複雑な装飾の土器、装身具、土偶、土版、石棒、漆を塗った土器や木器など	生活に必要なごく実用的なもの	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">II</div>

4 次の文章は本文中の「ア」「イ」「エ」のいずれかに入ります。入るところとして最も適しているものを一つ選びなさい。

著作権者への配慮から
掲載を控えております。

5 本文中の——線部②とありますが、「相当な課題」の具体例が述べられている段落を本文中から探し、初めの**五**字を抜き出しなさい。

6 次の文章は本文の内容について書かれたものです。本文中から抜き出しなさい。ただし、は四字、に当てはまる適切な言葉をそれぞれ

遊動生活において、人は新しい環境に適応するなかで探索能力が活性化されたり、情報処理能力が発揮されたりした。それに対して、ではそれらの能力を十分に発揮させることができない。という状況におちいつた。そしてに立ち向かうことはを生み出す原動力となった。

問題は、次のページに続きます。

【三】 青空中学校三年生の給食委員である水野さんは、市内の中学校の生徒会交流会において「食品ロスを減らす取り組み」というテーマで発表をするため、同じ給食委員の小川さんと青木さんと一緒にリハーサル（予行演習）をしています。次の【リハーサルで話した内容】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【リハーサルで話した内容】

みなさん、食品ロスという言葉をご存知ですか。「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことを言います。具体的には、給食の食べ残し、お店で売れ残って捨てられる商品、家庭で食べられないまま捨てられる食品などがあります。平成二八年度の消費者庁の資料によると日本の一年間の食品ロスの量は約六四三万トンだと述べられています。

へ A へ 心が痛みませんか。この食品ロスについて、青空中学校では一年前に授業で学びました。その際「食品ロスを減らすために、何かできることを学校全体で取り組みたい。」という声が生徒からあがり、給食委員を中心に食べ残しを減らす取り組みが始まりました。今からその取り組みについてお話します。

最初に、給食委員は、給食センターが取り組まれている食品ロスを減らすための工夫^{くふう}について、職員のみなさんにお話を伺^{まが}いました。例えば、給食センターでは、野菜の下処理をする際、可食部^①をできる限り多く残す切り方や、にんじんや大根を皮ごと調理する工夫を考案されたそうです。作業を実際に行うことは大変なのだけれど、食品ロスを減らすために頑張っているのだと職員のみなさんは言^いっていました^②。このようなお話を集会やお昼の放送で伝えたところ、生徒からは「給食センターの職員のみなさんが食品ロスを減らすために工夫されていることがわかった。」「今より食品ロスを減らすよう協力していきたい。」「自分はこれまで家でもつたないことをしていたのだとわかった。」「などという感想が寄せられました。集会や放送で伝えたことで、学校全体の食品ロスに関する興味や関心が高まり、食品ロスに対する理解が深まったよ

うに思います。

次に、給食委員は毎日食べ残し調査を行い、食べ残しが多い日の献立を調べました。調べた結果、食べ残しが多かったのは献立に魚があった日で、食べ残し量は約三四パーセントでした。そこで、魚の食べ残しが減るような献立を青空中学校全体で考えようと「魚を食べよう献立コンテスト」を開催することにしました。このコンテストで優勝したのは「さんまのまぜごはん」でした。これはさんまを香ばしく揚げ、細かく切ってタレと一緒に混ぜたものでした。この献立は魚嫌いの生徒もおいしく食べることができ、食べ残し量は全校で約八パーセントとなり、食品ロスを減らすことにつながりました。この成功に力を得て、その後も毎学期にテーマとする食材を変えながら、献立を考えるコンテストを開催するようになりました。

これらの取り組みをした後、全校生徒に実施したアンケートをもとに、【グラフ1】と【グラフ2】をつくりました。こちらを見てください。【グラフ1】から、

I

また、【グラフ2】から、

II

。これらのことは、

給食委員の取り組みの成果であると考え、大変うれしく思っています。また、目標を達成するためには、多くの人と一緒に取り組むことが大切なのだ実感することができ、私にとつてもよい経験となりました。

これからも青空中学校では食品ロスを減らすよう、取り組みを続けていきたいと考えています。ご清聴ありがとうございます。

1 【リハーサルで話した内容】中からわかる、水野さんの発表の工夫くふうとして適あしていないものを、次のア～エから一つ選えらびなさい。

- ア 聞き手に関心を持たせるために、複数回呼びかけの表現を入れている。
- イ 話し手の考えを明確に伝えるために、発表の初めに結論を述べている。
- ウ 分かりやすく説明するために、順序を示す言葉を用いて説明している。
- エ 客観的事実を示すために、資料から調べた内容を述べている。

2 水野さんは小川さんからアドバイスをもらい、本番では、**ア**の部分に次の 内にある内容を付け加えて話すことにしました。水野さんは小川さんからのようなアドバイスをされたのでしょうか。「というアドバイス。」で終わるように書きなさい。

これは、日本中の人びとが一年間毎日お茶碗ちやわん約一杯いっぱい分の食べ物を捨てている計算になります。

3 水野さんは発表のリハーサル後に、青木さんから【リハーサルで話した内容】中の——線部①の意味が分かりづらかったという感想をもらいました。どのような言葉に直すとよいですか。適切な言葉を書きなさい。

4 【リハーサルで話した内容】中の——線部②の言葉を、より敬意が伝わる表現にするにはどのように言いかえればよいですか。尊敬語を用いて書きかえなさい。

5

【リハーサルで話した内容】中の

I

II

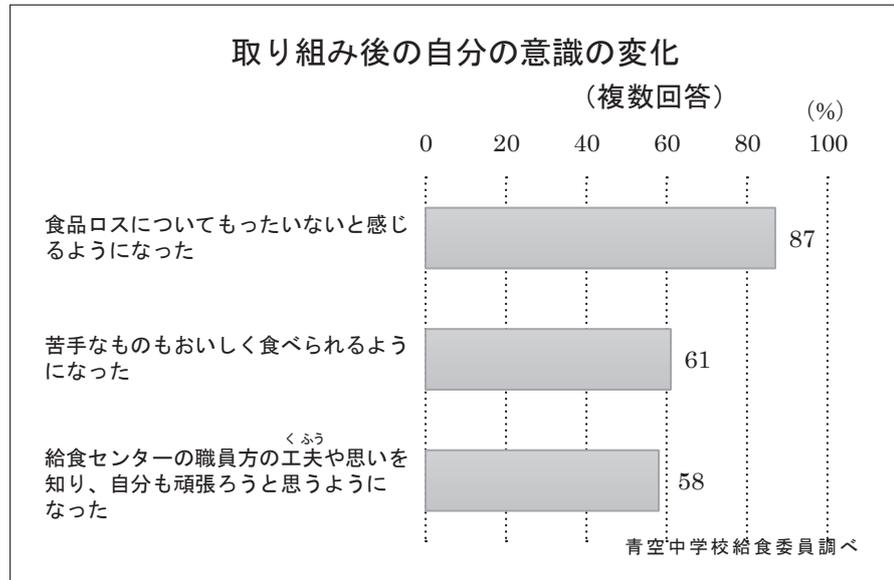
を用いて話した内容が入ります。あなたが水野さんならどのような話をしますか。

には、水野さんが次の【グラフ1】、【グラフ2】の情報

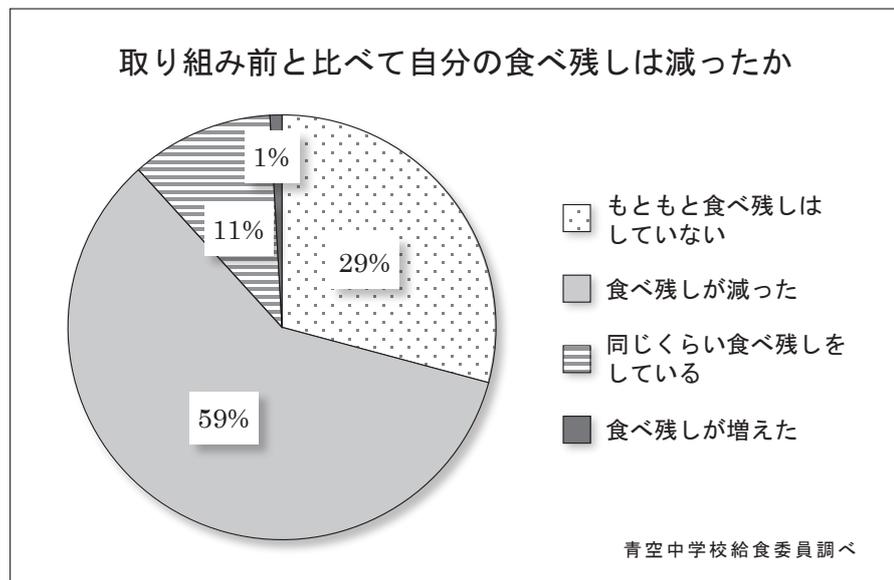
I

は四十字以上、六十字以内で、
II は二十字以上、四十字以内で、前後の文脈に合わせて**実際に話す**ようにそれぞれ書きなさい。

【グラフ1】



【グラフ2】



はやぶさ2

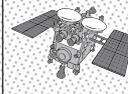
I

!!



オーストラリアで観測されたカプセルの光跡=6日午前2時半ごろ
〔〇〇〇〕 ホームページより 〇〇年〇月〇日

宇宙新聞



2021年
令和3年
2月〇日
3年1組
秋本 〇〇

【新聞の下書き】

四 秋本さんの学級では、生活の中で興味をもったことを調べ、新聞をつくることになりました。秋本さんは「はやぶさ2」について調べています。次は、秋本さんが書いた【新聞の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

2020年12月6日、小惑星探査機「はやぶさ2」が約3億km離れた宇宙から戻ってきた。はやぶさ2は、小惑星「リュウグウ」から採取した砂が入ったカプセルを無事地球に持ち帰った。月より遠い宇宙から石などを持ち帰った宇宙探査は、2010年のはやぶさ初号機以来2例目。日本の技術力に世界は驚嘆することとなった。

はやぶさ2の歩み

地球から約3億km離れた宇宙には、小惑星リュウグウ（小さな岩のかたまり）がただよっている。宇宙の秘密を解くため、リュウグウに向けて、小惑星探査機はやぶさ2は2014年12月に地球を出発し、2018年に到着。着陸できそうな場所が見当たらないというトラブルにあったが、時間をかけてリュウグウの形を調べ、プログラムを書き直し、着陸にこぎつけたという。2019年には2回挑戦し、石や砂の採取に成功した。

その後、はやぶさ2は、2020年12月5日、地球に約22万kmにまで接近し、宇宙空間からリュウグウの砂が入ったカプセルを分離。カプセルは夜空を猛スピードで進み、表面の温度は3千℃まで上昇、夜空に輝く大きな光の筋となった。（上段写真）

教えて宇宙博士

リュウグウの砂から何がわかるの？



今回の調査の目的の1つが、リュウグウに水を含む鉱物があるかどうかを調べることなんだ。誕生してすぐの地球には水がほとんどなかったとされていて、今ある水がどこから来たのかは解明されていない。もしカプセルの中にあるリュウグウの砂に水を含む物質があれば、水があった小惑星などが地球に飛来し水を運んだという説が有力になる。だから、はやぶさ2が持ち帰ったカプセルの中身は、地球がどのように誕生したのか、なぜ地球に水が存在するのかという秘密を解くカギとなるかもしれないんだよ。

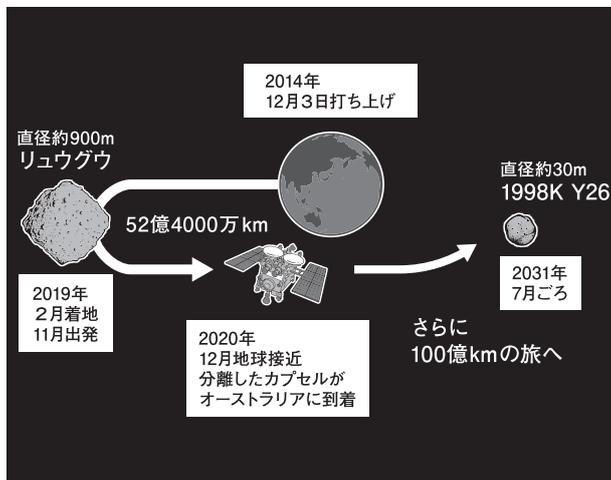
〔〇〇〇〇〕 △△△著より作成 〇〇年〇月〇日

そしてついに、はやぶさ2は目標地点のオーストラリアの砂漠にカプセルを着地した。カプセルはJAXA（宇宙航空開発研究機構）が無事回収した。

新たな旅、100億km

地球にカプセルを届けても、はやぶさ2の仕事はまだ続く。地球に戻るまでの6年間の総飛行距離は50億kmを超えたが、大きな損傷もなく、燃料も十分残っているため、さらに約100億km離れた次の目標である小惑星1998 KY26の調査に向かった。順調にいても到着するのは2031年7月。宇宙の秘密を解く10年を超える長旅になる。

図解 はやぶさ2の道のり



(「〇〇〇」△△△著より作成 〇〇年〇月〇日)

II

(「〇〇〇」ホームページより作成 〇〇年〇月〇日)

コラム

「もう10年……」当時私は5歳だったが、はやぶさ初号機のニュースの映像を鮮明に覚えている▼2010年6月、はやぶさ初号機は小惑星イトカワからカプセルを地球に持ち帰った後、星空の中で爆発的に燃え尽きた▼2014年、はやぶさ2は、はやぶさ初号機の成功と失敗を糧にし、宇宙へ旅立った。結果は大成功▼計画に関わった人々は笑顔、あるいは涙で記者たちのインタビューに答えていた。その日を迎えるまでどれほどの困難を乗り越えたのだろう、想像に余りある▼日々知恵を絞り、失敗を乗り越え、宇宙の秘密に迫っていく、そのような人々の姿に私は感動と憧れを抱く▼はやぶさ2が、小惑星1998 KY26に到着する時、私は25歳。その時までに宇宙に関する仕事に就きたい、今の私の強い希望だ。

(JAXAのWebページなどにより作成)

1 次のア～エのうち、【新聞の下書き】中の  に書かれている内容について説明したものととして、最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 調査の目的をくわしく述べた上で、はやぶさ2の成果の情報にしばって書いている。
- イ 書き手の意見を述べた上で、複数の見方を取り上げて多面的に書いている。
- ウ 問題の解決方法が分かるように、グラフを用いてくわしく書いている。
- エ 新聞記事全体のだいたいの内容が分かるように、簡潔にまとめて書いている。

2 秋本さんは文章を読み返し【新聞の下書き】中の —— 線部①が誤っていることに気づきました。 —— 線部①を適切な形に書き直しなさい。

3 次は、秋本さんが【新聞の下書き】を書くときに見つけた本の巻末にある【奥付】おくづけです。あとのア～エのうち、奥付の一般的な特徴を説明したものととして、最も適しているものを一つ選びなさい。

宇宙探査 最前線

二〇一〇年十二月二十四日 初版第一刷発行

著者 星川冬子

発行者 村木ひろし

発行所 株式会社 モズ出版

大阪府中央区大手前二丁目 〒五四〇ー××××

印刷所 株式会社 小浜印刷

製本所 株式会社 おおさか製本

落丁・乱丁がありましたら、お取り替えいたします。

本書を無断で複写・複製することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

- ア 本の内容や構成などが示されているので、必要な情報がどこにあるのかすぐに探すことができる。
- イ 著者が本を書いたきっかけやねらいなどが書かれているので、著者の考えや思いを的確に捉えることができる。
- ウ 発行年月日、著者などが記されているので、いつ発行され、誰がこの本を書いたのかなどを知ることができる。
- エ 本に出てくる重要な語句などが一定の順序で並べられているので、必要な情報の見当をつけることができる。

4 秋本さんは、【新聞の下書き】中の見出し部分の言葉を考えています。あなたが秋本さんなら、どのような見出しをつけますか。【新聞の下書き】中の **I** に入れる適切な言葉を、次の条件に従って書きなさい。

条件1 旅、秘密の二つの言葉を使って書くこと。

条件2 六字以上、十五字以内で書くこと。

5 秋本さんは、【新聞の下書き】中の **II** の部分に、次のA、Bどちらの記事を使うかで迷っています。あなたが秋本さんなら、どちらの記事を使いますか。A、Bから一つ選びなさい。また、選んだ記事と【新聞の下書き】をあわせて読んだとき、読者に対してどのような効果が期待できるかを【新聞の下書き】中の内容と関連させて、七十字以上、百字以内で書きなさい。

A

はやぶさ2の成功の秘密は？

積み重ねが「大成」導く

開発者

津田雄一つだゆういちさんの言葉から

もっと教えて宇宙博士

「はやぶさ2」というのは、「はやぶさ」をベースにしたということで、「はやぶさ」も含めて、20年以上、遠大な手順を踏んで、やっとこの成果にたどり着けたわけです。こういうプロセスを大事にしていきたいなど、宇宙探査をやっている立場からは思います。挑戦を許容し、長い目で評価いただくようなこと、そういうようなことをお伝えできればいいと思いますし、特に子どもたちが、この「はやぶさ2」をみていろいろ学んでいた、あるいは興味を持っていた、だいたというのは、われわれにとっても大変うれしいことです。



(日本記者クラブのWebページより作成)

B

もっと教えて宇宙博士

世界の人、はやぶさ2に対してどう思っているの？

- 不確実な時代に朗報だ。世界は一丸となって宇宙をめざす必要があるね。(インド)
- 素晴らしい瞬間をくれた技術者に心からの敬意と感謝を！(オーストラリア)
- 人類に不可能なことは何もないと感じるよ！はやぶさ2の新たな出発を心から祝うよ！(トルコ)
- 宇宙を愛する心の前に、国や人種、文化の違いはない。感動をありがとう。(ロシア)
- カプセルを分離するとともに、その勢いそのまま新たな探査に旅立つ、実にクールだね。(アメリカ)



【五】 次の文章は、とんち話で有名な一休和尚の話です。これを読んであとの問いに答えなさい。（なお、設問の関係で古文中の「」の一部を省略しています。）

一休和尚は、いとけなき時より常の人には変り給ひて、利根発明なりけるとかや。師の坊をば養叟和尚と申ける。

こびたる旦那ありて、常に来りて和尚に参学などし侍りては、一休の発明なるを心地よく思ひて、折々は戯れをいひて

問答などしけり。或時かの檀那、皮袴を着て来りけるを、一休門外にてちらと見、内へ走り入て、へぎに書付立られけるは、

此寺の内へかわのたぐひ、固く禁制なり。若かわの物入る時は、其身に必ずばち当るべし。

と書きて置れける。かの旦那是を見て、皮のたぐひにばち当るならば、此お寺の太鼓は何とし給ふぞ」と申ける。一休聞

給ひ、「さればとよ、夜昼三度づつ撥当る間、其方へも太鼓の撥を当て申さん、皮の袴、着られけるほどに」とおどけられ

けり。

『仮名草子集』より

- * 師の坊 || 仏教を教える師匠ししょうである僧そう。
- * 養叟和尚 || 室町時代の僧。むろまち
- * 旦那 || お金や物品で寺や僧を支援しえんする人。
- * 参学 || 学問、特に仏教を学ぶこと。
- * 檀那 || 旦那と同じ。
- * 皮袴 || なめした皮で仕立てられた袴。
- * へぎ || スギやヒノキを薄く削って作った板。
- * 撥 || 太鼓をたたく棒。ここでは「撥」に「ばちばち(罰)」の意味を重ねている。

1 本文中の ~~~~~ 線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 次の二つの文の —— 線部の「の」は同じ働きをしています。本文中の —— 線部ア～エの「の」のうち、この二つの文の「の」と働きが同じものを一つ選びなさい。

紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

東の山の峰みねより月の出いづ。

3 本文中に —— 線部①とありますが、ここでは誰と誰が問答をしていたのですか。次のア～エのうち、適しているものを二つ選びなさい。

ア 一休

イ 常の人

ウ 養叟ようそう和尚おしょう

エ 旦那だんな

4 本文中の——線部②で終わる会話文の始まりの部分が分かるように、解答欄に「を書き入れなさい。」

5 次のア～エのうち、この話の内容に合うものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア お寺で皮袴かわばかまを身につけてよいのかを質問してきた旦那だんなに対して、一休は正しく説明をすることができた。
- イ 日ごろからじょう談を言っつてからかっつてくる旦那を、一休はうまくだままして太鼓たいこの撥ぼちでたたくことができた。
- ウ 書き付けた内容に鋭く切り返してきた旦那の言い分に、一休は機転きてんをきかせてうまく言い返すことができた。
- エ 皮袴を身につけてきた旦那を注意したところ太鼓の皮のことを逆に指摘しつてきされ、一休は恥ずかしい思いをした。

これで、国語の問題は終わりです。

